

N-アセチル-β-グルコサミニル-グリコプロテイン 4-β-N-アセチルガラクトサミニルトランスフェラーゼ

Cat. No. EXWM-2473

Lot. No. (See product label)

はじめに

明 ヒト由来の酵素は、非還元末端にD-グルクロン酸 (GlcUA) を持たず、N-アセチル-D-グルコサミン (GlcNAc) を持つN-グリカンおよびO-グリカン基質にN-アセチル-D-ガラクトサミン (GalNAc) を転移することができます。N-アセチル-β-D-グルコサミニル基は通常、コアオリゴ糖に存在しますが、ペンジルグリコシドは酵素特性評価実験で使用されています。いくつかのグリコホルモン、例えばルトロピンやサイロトロピンは、N-アセチル-β-D-ガラクトサミニル-(1→4)-N-アセチル-β-D-グルコサミニル基を含むN-グリカン構造を含んでいます。

別名 β1,4-N-アセチルガラクトサミン転移酵素 III; β4GalNAc-T3; β1,4-N-アセチルガラクトサミン転移酵素 IV; β4GalNAc-T4; UDP-N-アセチル-D-ガラクトサミン:N-アセチル-D-グルコサミン基 β-1,4-N-アセチルガラクトサミン転移酵素; UDP-N-アセチル-D-ガラクトサミン:N-アセチル-β-D-グルコサミン基 4-β-N-アセチルガラクトサミン転移酵素

製品情報

形態 液体または凍結乾燥粉末

EC番号 EC 2.4.1.244

反応
$$\text{UDP-N-アセチル-}\alpha\text{-D-ガラクトサミン} + \text{N-アセチル-}\beta\text{-D-グルコサミニル基} = \text{UDP} + \text{N-アセチル-}\beta\text{-D-ガラクトサミニル-(1}\rightarrow\text{4)-N-アセチル-}\beta\text{-D-グルコサミニル基}$$

備考 このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。ご要望に応じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法 短期保存の場合は+4 °Cで保管してください。長期保存の場合は-20 °C~-80 °Cで保管してください。